

令和 8 年度 第 2 回摂津市立別府小学校 学校運営協議会 議事録

令和8年5月26日(火) 18:30~20:30

場所:別府小学校 視聴覚室

出席者:校長、教頭、首席、児童生徒支援コーディネーター、学校運営協議会委員、こども政策課

1. 開会

会長より開会あいさつがあり、本日の協議事項について説明があった。

2. 学校の近況報告

◇校長及び別府小学校教員より、1学期の学校の様子について報告があった。

◇児童は落ち着いた学校生活を送り、児童会活動や異学年交流、委員会活動など、子どもたちが主体的に活動する場面が増えていることが共有された。

◇また、放課後宿題広場では、多くの児童が参加し、地域ボランティアの見守りのもと安心して学習に取り組んでいる様子が紹介された。

3. 学校教育自己診断(学校アンケート)結果について

◇校長より、児童・保護者・教職員を対象に実施した学校教育自己診断の結果について説明があった。

◇教職員の学校改善に対する意識や組織的な取組が向上していることが確認されるとともに、児童アンケートでは学校生活への満足感や安心感が高い水準を維持していることが報告された。

◇一方で、子どもの主体性や子ども同士のつながりについては、今後さらに充実を図る必要があることが共有された。

◇また、委員からは、保護者アンケートの回答率向上や学校からの積極的な情報発信の重要性について意見が出された。

4. 家庭訪問・保護者との連携について

◇今年度実施した家庭訪問について報告があった。

◇学校からは、保護者と早い段階で顔を合わせることで信頼関係を築くことができ、相談しやすい関係づくりや子どもの理解につながったことが紹介された。

◇委員からも、家庭訪問は教育的効果が高く、災害時の対応や家庭との連携の面からも有意義な取組であるとの意見が出された。

◇また、学校・家庭・地域が互いに信頼関係を築きながら子どもたちを支えていくことの重要性について確認した。

5. 地域連携の取組について

◇地域振興券事業や「べふっこ未来基金」の進捗について報告があった。

◇また、放課後宿題広場では地域ボランティアの協力を得ながら、子どもたちの学習支援と居場所づくりを進めていることが紹介された。

- ◇さらに、11月開催予定のPTAまつりについて協議が行われ、地域団体や企業、卒業生、福祉事業所などと連携し、子どもたちが地域とのつながりを感じられる行事として実施していく方向性が共有された。
- ◇加えて、地域の子ども食堂などの取組についても紹介され、学校だけでなく地域全体で子どもたちを見守り育てていくことの大切さについて意見交換が行われた。

6. 今後の学校運営協議会について

- ◇委員からは、学校運営協議会は学校運営について協議するだけでなく、学校・家庭・地域をつなぐ役割を担う組織として、今後も地域の人材や企業、各種団体との連携を広げながら、子どもたちの学びや体験活動を支えていくことが重要であるとの意見が出された。
- ◇また、現在進めている放課後宿題広場や地域振興券事業などについても、継続的な取組として発展させていくことを確認した。

7. まとめ

- ◇本協議会では、学校の近況、学校教育自己診断の結果、家庭訪問や放課後宿題広場の成果、地域振興券事業、PTAまつり、子ども食堂をはじめとする地域連携の取組などについて報告及び協議が行われた。
- ◇委員からは、学校全体が落ち着いた雰囲気となり、教職員と児童との信頼関係が深まっていることや、地域と連携した教育活動が着実に進んでいることについて評価する意見が多く出された。
- ◇今後も、「誰もが楽しく幸せに6年間を過ごせる学校」「すべての子どもに居場所がある学校」の実現に向けて、学校・家庭・地域がそれぞれの強みを生かしながら連携し、子どもたちの成長を支えていくことを確認した。